

特定非営利活動法人親子の未来を支える会



【活動分野】 子どもの健全育成、保健・医療・福祉

【団体 PR】 私たちは、生まれつきの病気や障がいについて、-1才（生まれるまえ）からの医療（予防・ピアサポート・胎児治療・福祉との連携等）の支援・啓発事業を行っています。

●胎児ホットライン おなかの赤ちゃんに病気が見つかった時、妊婦さんやそのご家族を支える仕組みです。検査実施機関でも当事者団体でもない、安心して相談しやすい窓口として2021年4月にオンライン相談窓口を開設しました。

●ライフサポート 学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワークの構築事業を行っています。学校や保育園において医療的ケアのお子さんの支援にかかわる方と、私たちとで、直接教育委員会などに出向き、最適な支援の仕組みを検討し、体制整備に努めます。

（理念）1.みなが暮らしやすい社会をつくる 多様性を理解しあい、病気や障がいがあっても隔離されることなく、平等に社会参加できる社会を目指します。2.家族の笑顔を増やす ひとつひとつの家族を尊重し、それぞれに必要な情報と心

理的サポートを提供します。障害と共に生きる家族同士をつなぎ、より安心して子作り・子育てできる社会を目指します。

（代表の想い）病名が障がいになってはいけない 医療者として：「〇〇病だから治療適応はない」をしない 市民として：「〇〇病はかわいそう。理解できない。」をしない 医療者、患者家族、コミュニティデザイナー、IT エンジニアらが協力して活動を進めることで、極端な論理にならないよう心がけています。ただ中立を目指すだけでなく、個々の家族にとって、また社会にとって何が最適な解決策なのかを常に模索し、歩み続けます。